



# ごみスリムリっとう 53 vol.

## 事業報告

### ごみ・リサイクル探検ツアー

#### 8月3日(木)開催 川越電力館テラ46・川越火力発電所(三重県川越町)

栗東市ごみ減量リサイクル推進会議では、栗東市内の小学生家族を対象に、ごみやりサイクル、環境問題についてみなさんの理解や関心を深めて頂くためのバスツアーを開催しています。

今年は、4年ぶりの開催となり、川越電力館テラ46・川越火力発電所を訪問し、電気やエネルギーについて学習しました。

川越電力館テラ46では、まず私たちが普段使用している家電(電気エネルギー)には、いくつかのエネルギーに分けられることの説明を受けた後、手回し発電機、火力発電の仕組み(模型)を用いて、電気の流れる速さや安定して電気を生み出すための大変さ、川越火力発電所での発電方法を実験により体験しました。



その後は、隣接している川越火力発電所に移動し、発電所全体の運転状態を監視・制御する中央制御室や電気を起こすためのガスタービン・蒸気タービンが稼働している施設を見学しました。

参加者からは「日々必要な分だけ電気が作られていることを知り、節電を心掛けて大切にしていきたい」「限りある資源を今後長く残せるようにできることを1つずつ実施していく」などの感想が寄せられ、環境に関する理解を深めていただく機会となりました。



電気の速さは、光の速さと同じ1秒あたり30万kmです。

→およそ1秒で地球7周半もする速さとなります



## 10月は食品ロス削減月間です ～みんなで食ロス削減に努めましょう～

日本では、本来食べられるのに捨てられてしまう食品「食品ロス」が令和3年度に年間約523万トン(推計)発生しています。これは国民1人当たり換算すると、毎日おにぎり1個分(約114g)を捨てている計算になります。世界では、深刻な餓えや栄養不良で苦しむ多くの人々が存在しています。さらには廃棄物処理に伴う環境負荷(CO<sub>2</sub>発生等)にもつながるため、食品ロス削減は国を挙げて取り組むべき課題です。

こうした状況を受け、令和元年5月に「食品ロスの削減の推進に関する法律」が成立し、毎年10月が「食品ロス削減月間」、10月30日が「食品ロス削減の日」として定められました。(注1)

栗東市では、10月の「食品ロス削減月間」に合わせて、下記の日程でフードドライブを実施されます。

(注1) 栗東市では、「食品ロス削減の推進に関する法律」第13条第1項の規定に基づき、国の定める基本方針および「滋賀県食品ロス削減推進計画」を踏まえ、令和3年度に「栗東市食品ロス削減推進計画」を策定

## お知らせ

みなさまのご協力をお願いします。



### ●フードドライブの開催日時・場所

- 10月25日(水) 11時～17時 アルプラザ栗東 1階イベントスペース
- 10月26日(木) 9時～17時 栗東市役所 2階 環境政策課

ご家庭に眠っている、食べきれない、使われない食品があれば、ぜひ寄付にご協力ください。寄付していただいた食品は、栗東市社会福祉協議会(善意銀行)、一般社団法人栗東生活支援協議会を通じて、子ども食堂など必要な人に渡されます。

※フードドライブとは…ご家庭で使いきれない未開封の食品を、必要としている団体に寄付する活動です。

## お持ちいただける食品

- 賞味期限が1か月以上あるもの
- 未使用・未開封のもの
- 常温保存が可能なもの
- 食品表示があるもの(日本語表記)



お米・小麦粉・乾麺



レトルト食品・インスタント食品



調味料・食用油・のり・ふりかけ



缶詰・瓶詰



菓子類・粉ミルク・離乳食



飲料

## お引き受けできない食品

- ×生鮮食品
- ×アルコール飲料
- ×冷蔵・冷凍食品
- ×食品表示、賞味期限の記載のないもの
- ×生産年月日が確認できない家事消費米や縁故米など

編集・発行 栗東市ごみ減量リサイクル推進会議

栗東市ごみ減量リサイクル推進会議事務局(栗東市役所 環境政策課 生活環境係)  
TEL 077-551-0341 FAX 077-551-0148 Eメール kankyoseisaku@city.ritto.lg.jp

リサイクル特集

# 『ペットボトルの水平リサイクルについて』

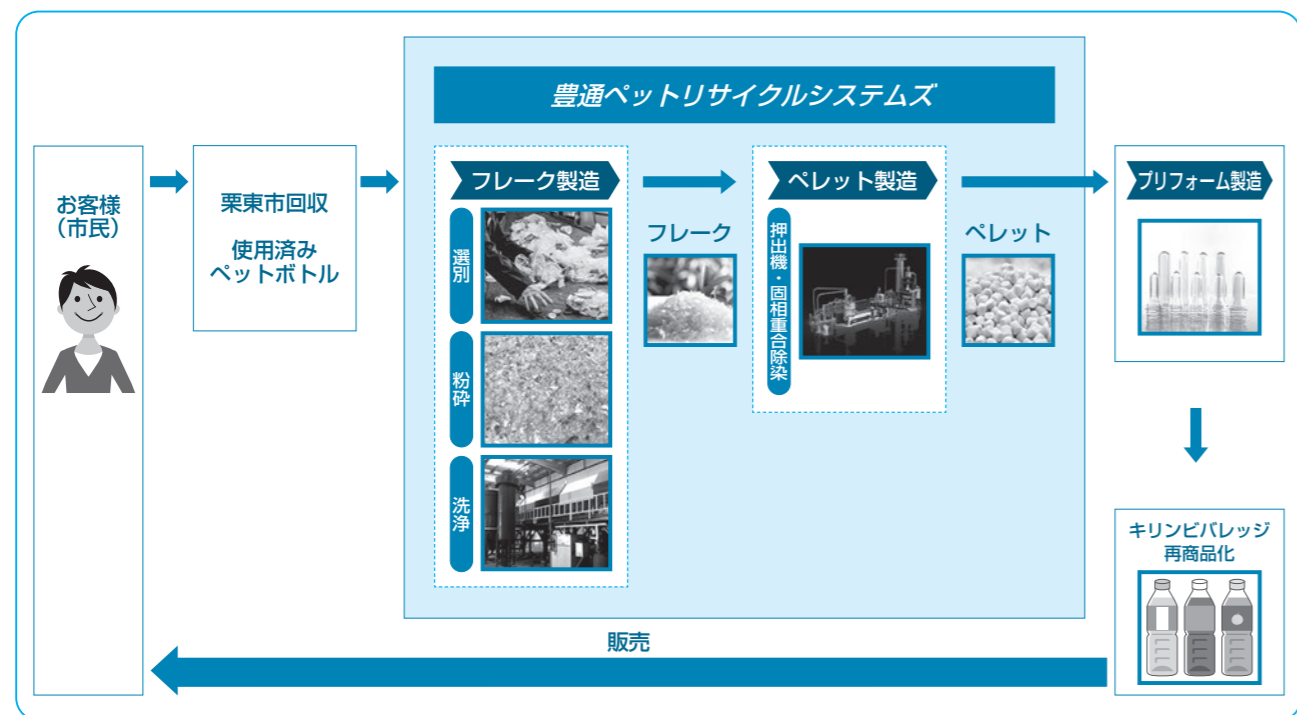
2023年4月より「カスケードリサイクル」から「水平リサイクル」に切り替わっています

栗東市では、今まで回収した使用済みペットボトルから別の製品に作り替えられる「カスケードリサイクル」を行っていましたが、二酸化炭素排出量がより少ない高度な循環型社会を目指すべく、総合商社の豊田通商（株）、大手飲料メーカーのキリンビバレッジ（株）と2023年2月1日に「ペットボトルの水平リサイクルに関する協定」を締結しました。



協定により今年の4月からペットボトルの「水平リサイクル」が実現し、家庭から収集した使用済みペットボトルは、日野町にある「豊通ペトリサイクルシステムズ（株）」でペットボトル用の樹脂にし、キリンビバレッジ（株）で再びペットボトルが作られています。

## ～回収・再原料化・商品化までの流れ～



### ●栗東市が水平リサイクルにすることでどうなるの？

年間約150トンのリサイクルが可能となります。  
(500mlのペットボトル換算で約760万本分に生まれ変わります。)

※水平リサイクル 別名「B to B(ボトル to ボトル)」

使用済みペットボトルを原料に、再びペットボトルを製造する方法  
ペットボトルからペットボトルへと何度でも繰り返し再生できる高度な循環型リサイクル

※カスケードリサイクル

使用済みペットボトルを原料に、ペットボトルとは異なる用途の製品を作る方法  
例)衣類、食品トレイ、カバン、クリアファイルなど →最終的には、焼却処分され、循環が途切れます。



## 分別収集にご協力ください ～ペットボトルは大切な資源です～

- ①ペットボトルのマークがついているか確認してください。  
飲料用、酒類、調味料等で右記のマークがついているものが収集対象となります。 このマークが目印です
- ②キャップとラベルは必ずはがしてください。
- ③中をすすいで、ペットボトルは押しつぶしてください。
- ④コンテナにペットボトルを山盛りに入れないでください。  
収集時にコンテナからペットボトルがこぼれ落ち、周囲に散乱する可能性がある場合は収集されません。空いているコンテナを十分にご活用してください。  
※コンテナが足りない場合は自治会の申請により追加配布することができます。



PET

### ○収集できる参考例



支障なく収集できる量



キャップとラベルがない状態

### ✕収集できない参考例



収集時にペットボトルがこぼれ落ち、周囲に散乱する可能性があるため収集されません



キャップとラベルが取り外されていないため収集されません

### 分別特集 第1弾

## みなさまに知っていただきたいワンポイント ～ビンの分別・収集について～

ビンは色別(白色・茶色・青緑色・黒色)に、それぞれ別々の車両で収集されています。一度収集が終わった色のビンを収集後に出されても収集されませんので、**必ず朝8時まで**に出してください。

※ビンの色分け等について、詳しく知りたい方は栗東市のホームページでご確認ください。

検索ワード「栗東市 ビンの分別」

